



市民公開シンポジウム

外科手術の研修や先端技術の研究に、解剖学的に人に近いとされるブタを使う動きが日本でも活発化しようとしています。さらに単に実験台にするだけでなく、そこから発展させ、ブタの体内で人の臓器を育てる「異種再生医療」の研究も進められています。

このように先端医療を支える存在になりつつあるブタを育て、研究者や医者に提供し、研修や実験ができる仕組みをつくらうという計画があります。被災した東北の畜産業の復興を支援し、日本全体に先端医療を広げる拠点にしようという試みです。

今回のシンポジウムでは、この計画を広く市民の方々にご理解いただくために、開かれた場で、医療のために動物の命を供することについて、私たちが考えなければならない点を、専門家との間で議論します。どうぞふるってご参加ください。

ブタは日本を 救えるか？

日時 **2012年6月11日(月)**
17:30～19:30(開場 17:00～)

講演／パネルディスカッション

発表

東北ピッグセンター(仮称) 構想について
自治医科大学先端医療技術開発センター客員教授

小林英司

コメンテーター

福島県立医科大学産学官連携推進本部教授 片平清昭
東北大学付属動物実験施設客員教授 笠井憲雪
自治医科大学実験医学センター教授 国田 智

司会

東京財団研究員 櫛島次郎

会場 **秋葉原コンベンションホール**
5階 5B 会議室

(〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル)

参加費 **無料**

申込方法 お名前、ご所属、ご連絡先を明記し、下記E-mail宛にお申し込みください。後日、お申し込み完了のメールをお送りいたします。

E-mail : seimei-rinri@tkfd.or.jp

問合せ 東京財団 生命倫理サロン事務局

03-6229-5502

共催 東京財団 自治医科大学